

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	1:誰もがいきいきと暮らせるまち
施策の大綱【政策】	2:安心して子どもを産み育てられるまちづくり
分野	3:母子保健
具体的な施策【施策】	5:妊産婦の健康支援
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人工死産率のさらなる減少を図るため、学校との連携を図り、年少時から、命の大切さや自己効力感を高める教育の支援に努めます。また、産後の乳児全戸訪問などの機会を捉え、家族計画などの指導を継続して実施します。 ・不妊治療を望まれる方に対し、大きな負担となっている治療費用に対する経済的支援を継続して実施します。 ・母子健康手帳交付時や医療機関からの情報提供により、ハイリスク妊婦などの把握に努め、必要とされる支援に早期につなげます。 ・健やかな妊娠・出産を迎えるため、妊娠中から機会を捉えて、妊産婦の健康に関する知識の習得や各種制度やサービス・支援について周知啓発を図るとともに、妊娠・出産・子育て期と切れ目のない支援を強化して行くための体制整備に努めます。

1	担当課かい名	健康福祉部 健康推進課
	現状（進捗状況）	<p>不妊治療や妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査の費用助成により妊娠に伴う経済的支援及び健康管理を行った。母子健康手帳交付時を実態把握の機会と捉え、ハイリスク妊婦への早期の支援につなげた。</p> <p>また、子育て世代包括支援センター設置し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の充実に努めた。更に、産婦健康診査及び産後ケア事業を導入し、産後早期の支援を実施した。</p>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	出生数が減少する中、低出生体重児は増加しており、安心して子どもを生み育てることができる環境づくり及び適切な保健指導が必要である。また、産後うつ、ひとり親、若年・高齢化、社会的孤立、貧困等、妊産婦が抱える課題が複雑困難化しているため、今後も更に、切れ目のない支援の継続と関係機関との連携強化が必要となる。
	第2期計画の方向性	健やかに安心して子どもを生み育てられる環境づくり及び子育て世代包括支援センターの機能強化による相談体制の充実を図る。また、ICTを活用することにより、母子に対するサポート体制を整え、子育て支援の強化を図る。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	1:誰もがいきいきと暮らせるまち
施策の大綱【政策】	2:安心して子どもを産み育てられるまちづくり
分野	3:母子保健
具体的な施策【施策】	6:乳幼児の健康支援
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規則正しい生活習慣の確立のための周知啓発を図り、関係機関との連携を強化しながら、生活習慣の自立、その他の育児に関する指導を行います。また、乳幼児の健康の保持増進、保護者の育児不安の軽減を図るため、育児環境に問題を抱えた家庭への支援を進めます。 ・ 心身障がいの進行を未然に防止するため、健診や家庭訪問などを通して、子どもの心身の異常を早期発見できるよう、適切な指導を行うとともに、必要とする支援の提供や各種相談、医療機関の受診につなげます。

1	担当課かい名	健康福祉部_こども未来課
	現状（進捗状況）	医療を必要とする乳児（未熟児）が指定医療機関で入院治療を受ける場合に、養育に必要な医療給付を行った。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	特になし
	第2期計画の方向性	乳児の健康の保持増進のために、現行どおり、医療を必要とする乳児（未熟児）が指定医療機関で入院治療を受ける場合に、養育に必要な医療給付を行う。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	健康福祉部_健康推進課
	現状（進捗状況）	乳幼児健康診査（4ヶ月児・7ヶ月児・1歳6ヶ月児・3歳児）を実施し、乳幼児の健康の保持増進及び保護者の育児不安の軽減に努めた。また、母子訪問指導（未熟児、生後4か月までの乳児家庭全戸訪問、乳幼児訪問）及び母子健康相談（こども発達相談、母子個別相談）により、子育ての孤立化を防ぐとともに保護者の悩みや不安を聞きながら適切な支援を行い、子どもの健やかな育成を図った。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	朝食欠食や就寝時間が遅い等、健康的な生活習慣ができていない家庭は減少しておらず、基本的な生活習慣の確立を推進する必要がある。 また、発達に問題を抱えた子どもの増加や、複雑な家庭環境にある子どもも増加しており、早期から各関係機関との連携及び個別対応が必要となる。
	第2期計画の方向性	乳幼児健診の受診率を高め、基本的な生活習慣の確立と保護者を含めた子供の頃からの生活習慣病予防のための相談・教育活動を展開する。 関係機関との連携を密にしながら、発達特性に応じた支援や育児環境に問題を抱えた家庭への支援を充実する。
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	1:誰もがいきいきと暮らせるまち
施策の大綱【政策】	2:安心して子どもを産み育てられるまちづくり
分野	4:子育て
具体的な施策【施策】	7:子育て環境の充実
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに対する孤立感や負担感の解消のため、相談や支援体制の充実を図ります。 ・児童虐待などの防止、早期発見・対応を促進するため、拠点の整備を図るとともに、関係機関との連携を強化します。 ・こども医療費助成や保育料の軽減などを継続・拡充し、子育て世帯の経済的な負担軽減を図ります。

1	担当課かい名	健康福祉部_こども未来課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の親子や妊婦が、個別のニーズに対応した子育て支援サービスを円滑に利用できるよう、子育て相談窓口を設置し、情報提供や相談・助言のほか関係機関との連絡調整を行った。 ・児童虐待やDVの早期発見・早期対応及び発生防止に向けて「八代市要保護児童対策地域協議会」を設置し、関係機関が必要な情報を交換し共有するとともに、要保護児童等の個別ケースに対する具体的な支援の内容を協議し対応した。 ・こども医療費助成の対象年齢の18歳（高校3年生相当）までの拡充、また、18歳までの子どものうち、第三子以降について、国の幼児教育・保育の無償化の対象とならなかった保育料と副食費の市独自の免除を実施し、子育て世帯の経済的な負担軽減を図った。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	児童虐待やDVについては、相談や支援ケースが増加傾向にあるとともに、その内容も複雑・多様化し長期化する状況にあることから、相談・支援の体制を強化する必要がある。
	第2期計画の方向性	増加し複雑・多様化する相談や支援ケースに迅速かつ効果的に対応するため、市の専門性を高めて業務体制を整備するとともに、関係機関との連携強化を図る。
備考・コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待やDVの早期発見・対応については、「人権擁護の推進」の施策においても同様に取り組んでいる。 ・保育料と副食費の市独自の免除については、「子育てと就労の両立支援」の施策において取り組んでいる。 	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	1:誰もがいきいきと暮らせるまち
施策の大綱【政策】	2:安心して子どもを産み育てられるまちづくり
分野	4:子育て
具体的な施策【施策】	8:子育てと就労の両立支援
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する保育ニーズに対応するため、状況に即した子育てサービスの提供や体制の充実を図ります。 ・放課後児童クラブの利用ニーズに対応するため、計画的な整備を図ります。 ・ひとり親家庭などの就労などについて、関係機関と連携し、自立支援を図ります。

1	担当課かい名	総務企画部 企画政策課
	現状（進捗状況）	結婚活動応援事業において、平成30年度は4団体に補助を行い、11組のカップルが成立した。令和元年度は2団体に補助を行い、8組のカップルが成立した。また、令和元年度より定住自立圏を形成する本市、氷川町、芦北町と連携した婚活事業を開始。令和元年度は、氷川町、芦北町において婚活イベントを開催し10組のカップルが成立した。なお、八代市での開催予定のイベントについては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。 令和2年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、過去に体験型婚活イベント事業を実施した事業者及び結婚活動応援事業により補助した団体に対し、各事業の実施の可能性について聞き取り調査を行った結果、令和2年度においては実施は難しいとの回答があった。これを受け、関係自治体（氷川町、芦北町）との協議等の結果、事業の実施を中止した。
	施策の進捗度	C（進捗について課題がある）
	課題	民間により開催される婚活イベント等との差別化の必要性。また、参加者の固定化等による参加人数の減少への対策も必要である。 新型コロナウイルスの感染状況次第では、結婚活動応援事業への応募が無いことが想定される。
	第2期計画の方向性	結婚を望む方に対して出会いの場を提供するために、感染防止対策などの新しい生活様式を取り入れた、魅力的で安心して参加できる事業の計画・実施を図るとともに、多くの方に参加していただけるような周知・啓発に努める。
備考・コメント		

2	担当課かい名	健康福祉部 こども未来課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯の個別の保育ニーズに対して、相談・助言を行い、保育所等への入園のほか各種子育てサービスの提供を行った。 ・放課後児童クラブの利用ニーズの増加に対応するため、クラブの新設等を行い児童の受け入れの拡充を進めた。 ・ひとり親家庭等に、生活の安定につながる資格取得のための給付金の支給など就労支援等を行い、児童の健全な育成とひとり親家庭等の経済的自立を促した。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等については、待機児童は発生していないが、公立保育所の老朽化が進んでおり、今後、大規模な改修や修理が必要となることが予想される。 ・放課後児童クラブについては、待機児童の解消に向けた児童の受け入れの拡充が必要である。
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な保育環境を維持していくために、計画的に公立保育所の大規模改修や修理を行うとともに、多様な保育ニーズに柔軟に対応しながら運営の効率化を図るため、民営化等の推進についても併せて検討する。 ・放課後児童クラブの待機児童の解消のために、利用ニーズを把握しながら、計画的に施設整備を行う。
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		